

よみがえれ地方語

◎ 6 ◎

船津 好明

沖縄文字と発音

④

对照国語文字	沖縄文字
へ	ふん
音韻記号=hwe 国際音声記号=[Φ e]	

発想——国語文字「ふ」と「え」を組合わせた表記法が従来散見されるので、これに配慮し、これらを結合させたもの。

用例——ふー(腐)、ふーさん(早い)、じゃーふー(始末におえないこと)

对照例——へ(おい)へ目下への呼びかけ

「ふ」の正しい発声への一つの接近法——上下の唇を軽く接して、国語の「ふ」と「え」をほとんど同時にいうようにすると、「ふ」の発音に近くなる。発声後は唇が開いて「え」を発声したときの形になる。「ふえ」のように二音に聞こえるような発声は正しくないので。なお、英語のフは上前歯が下唇に接した形で発声されるから「ふ」と異なる。

对照国語文字	沖縄文字
や	や
音韻記号=?ja 国際音声記号=[ʔja]	

発想——国語文字「い」と「や」を組合わせた表記法が従来散見されるので、これに配慮し、これらを結合させたもの。

用例——やー(君、お前)

对照例——やー(家)

「ら」の正しい発声への一つの接近法——口を由程度に開き、のどぐちを閉じ、これを破裂させるような感じで「や」というようにすると、「ら」の発音に近くなる。発声時の口の形(唇、歯、舌、ほおなど)は、のどぐちの部分を除いて、

「や」の発声時と少しも変わらない。なお「や」の字には「い」のイメージがあるが、発声においては「い」と二音に聞こえたり、発声の瞬間に「い」の響きをあえて残そうとするのは正しくない。

对照国語文字	沖縄文字
ゆ	ゆ
音韻記号=?ju 国際音声記号=[ʔju]	

発想——国語文字「い」と「ゆ」を組合わせた表記法が従来散見されるので、これに配慮し、これらを結合させたもの。

用例——ゆん(言う)

对照例——いゆ(魚、からゆし(めでたいう))

「ら」の正しい発声への一つの接近法——上下の唇をすばめて尖らせ、のどぐちを閉じ、これを破裂させるような感じで「ゆ」というようにすると、「ら」の発音に近くなる。発声時の口の形(唇、歯、舌、ほおなど)は、のどぐちの部分を除いて、

「ゆ」の発声時と少しも変わらない。なお「ゆ」の字には「い」のイメージがあるが、発声においては「い」と二音に聞こえたり、発声の瞬間に「い」の響きをあえて残そうとするのは正しくない。

对照国語文字	沖縄文字
よ	よ
音韻記号=?jo 国際音声記号=[ʔjo]	

発想——「や」「ゆ」の発想に準じ、「い」と「よ」を結合させたもの。

用例——よーいー(おさな子)

对照例——よーじ(楊枝、よーんなー(ゆっくら))

「ち」の正しい発声への一つの接近法——上下の唇をすばめて丸めて、のどぐちを閉じ、これを破裂させるような感じで「よ」というと、「ち」の発音に近くなる。発声時の口の形(唇、歯、舌、ほおなど)は、のどぐちの部分を除いて、「よ」の発声時と少しも変わらない。なお、「ち」の字には「い」のイ

メージがあるが、発声においては「いよ」と二音に聞こえたり、発声の瞬間に「い」の響きをあえて残そうとするのは正しくない。

(沖縄語研究家)